

スポーツ大会最後の種目の玉入れ



優勝旗を手にする平尾チーム

ピンの置き換え競争で急ぐ選手

# 笑い声が響き渡った 楽しい一日

高齢者が主役となる長島町いきいきシルバースポーツ大会と福祉芸能大会が10月10日、長島町B&G体育館と長島町文化ホールで開催されました。

この大会は、高齢者がスポーツを通して健康の保持に努めるとともに、親睦を深めることにより生きがいを見だし、地域住民の老人福祉に対する理解と関心を高めることを目的としています。

合併後6回目となった午前中のスポーツ大会には、町内を10地区に分けた高齢者約400人が参加し、ボールうつしや輪投げ、じゃんけん大会など8種目で順位を争い、平尾チームが優勝を果たし、6年連続で出水地区大会の切符を手に入れました。

同チームで茅屋の宮瀬保老人会長は「優勝したのは、今日参加したみんなのおかげ。出水大会も一致団結して頑張りたい」と抱負を話しました。

た。

午後からの福祉芸能大会は、会場となった文化ホールに町民約600人が詰めかけ、笑い声と笑顔が絶えない楽しい時間となりました。

オープニングでは、指江保育園の園児らによるストレッチ体操が披露され、倒立など9種目の柔軟な動作に見入っていました。このほか、長島伝統の唐隈郷土芸能保存会による傘踊りも会場を盛り上げ、長島ならではの催しで来場者を喜ばせていました。各地域から、さまざまな出演で盛り上がるカラオケ大会と踊りは、2回目となることから、地域の芸達者な高齢者がこれまで以上に登場し、たくさん拍手が送られました。芸能大会に登場した、蔵元集落の二階堂恵子さんは「保育園児の動きや笑顔、それぞれの余興で一日楽しくすごせ元気が出た」と満足の様子でした。

女性力士、指江ひまわり会の「相撲取り節」



代実踊ど  
野田のいい唄  
門濱ん酔い子  
山でさ「酔い子  
下表雄りれ



を島久  
ケ子喜  
オ獅子の  
ラう表さん  
カ歌代力